

「市長リコールの会」からのお知らせ④

代表 太田恒久 (090-6365-3646) 澤田恵子 (090-8739-7408) 竹本 博光 (090-8673-9455)

新城市民ってすごいじゃん!

どこの市町村より、自分のまちのことを真剣に考える市民が増えてきました!

市民自ら住民投票を実現させたよね!

最初は「無理だ!」の声が多かった住民投票でしたが、市民の強い見直しの思いが、ついには住民投票を実現させました。その結果、市民の声が聞き入れられるはずでしたが……。しかし、この事実は愛知県下の他の自治体からも評価を受け、大きな影響を与えています。新城市民はすごいんです!自分たちに自信を持ちましょう!



もう一度声を挙げようよ!

住民投票で目覚めた市民の思い。何か変だ、何かおかしい、そんな素朴な疑問を素直に声にすることができるようになりました。その声は何十億円の見直しを実現させました。今回の見直しも、何か変だ、何かおかしい。いきなり、結論?これでは市民は置いてけぼりです。自分たちの声を活かすために、もう一度頑張りましょう!

市長リコールで、将来不安を解消!

住民投票の分かりにくい選択肢で市民は、混乱しました。それでも、新城市の将来に不安を感じた多くの市民は、結果を出しました。そして、見直しは決着すると思いましたが、しかし、「結論ありき」のやり方は変わりませんでした。見直しを期待していた多くの市民を納得させるだけの明確な説明も将来計画もありません。何もしなければこのままいたずらに時が過ぎていくだけです。何もしないで2年を待つか、勇気を持って未来に希望を持つか。私たちは、後者を選ぶことが将来への責任と考えました。2年待つて何が変わるのでしょうか?



私たちは、この2年間の政策が心配なのです。庁舎事業の様に、「有利な借金」と合併特例債に頼る姿勢が心配なのです。「庁舎建設事業」「IC周辺企業団地造成事業」「鳳来総合支所周辺整備事業」「新城駅前整備事業」等、箱物事業(合計すれば100億円余)が予定されています。安易に進められれば、2年後に希望ではなく、借金が残されてしまいます。「後は野となれ山となれ」では困ります。

署名した情報は守られるよ!

「署名縦覧」の目的は、「自分の権利の保護(自分の名前が勝手に書かれていないか、または書いたはずの名前があるかの確認)」です。勝手に自分の名前が使われていたり、自分の署名が無効にされていれば、選管に異議を言うことができます。縦覧はメモ・写真撮影は禁止されています。縦覧者は氏名・住所を記入することで、責任を負わされています。また、縦覧時には、選管職員が監視し、「縦覧で知りえた個人情報他人に漏らさない」ことを大前提としています。個人意思の表明の自由は、守られることが当たり前です。



穂積市長リコール署名は、2月6日まで 新城市の事、一緒に考えて下さい！ 私たちの最後の訴えです！

署名の自由は、市長が守って当たり前

署名が始まって、3週間が経ちました。多くの市民が、新城市政に向き合った時間だったと思います。この中で、「署名をするとみんなに見られてしまう」と躊躇する市民に数多く出会いました。元市議会議員の藤野章一氏が代表を務める「新城友の会」（略称：新友会）発行の新友会報の影響です。「署名縦覧」で、「名前がわかる」と書いているのです。先の住民投票の署名でも署名縦覧されましたが、問題は起きていますか？「書いたらわかる」と市民を委縮させるやり方を、市長支援団体がなぜ行うのかおかしいと思いませんか？

また、「太田共同代表が自分の土地を買わせるために、市長リコールを利用するのはおかしい」と言う市民にも出会いました。同様に、新友会報の影響です。調べればすぐわかること（太田共同代表の土地は建設敷地内にはありません）を、真実であるかのように書いているのです。太田共同代表に対する人権侵害であり、新城市の将来を心配して市長リコール署名に取り組んでいる多くの市民に対して失礼だと思いませんか？

新城警察署に新友会を告訴・受理

現在、新城警察署に新友会報を発行した新友会の藤野代表を告訴し、受理されており、担当課に於いて調査が始まっています。また、新友会報作成に関わった山崎議員は、議員政治倫理審査会で審査されています。地方自治法に基づく市民運動を、脅しとごまかしで抑えようとするやり方は、おかしいと思いませんか？「何が正しいかわからない」と判断を迷っているみなさん、どちらが誠実に新城市のことを考えているか、冷静に判断して下さい。

子や孫に負担だけを残したくない

「子や孫に負担だけを残したくない」「身の丈に合った大きさに」などを求め、5年間の庁舎見直しを続けた十数人の市民から始まった運動が、住民投票を実現させ、住民投票で結果が出たはずでした。しかし、出された見直し案は、市民との合意の努力もないまま、結論だけが押しつけられようとしています。庁舎規模は、見直し前の9000㎡が見直し後8600㎡です。「住民投票は何だったのか？」と私たちは思いました。「子や孫に責任を果たす」ことだけを考えていた市民運動を、穂積市長は余りにも軽視していると思いませんか？

さらに、10年も市政を担いながら、新城市に具体的な実績を出せていないのです。市長リコール署名で多くの市民と向き合いましたが、穂積市長の実績が語られることはほとんどありませんでした。将来ビジョンも語らない10年間は、はっきりと「新城市の停滞」という結果を示しています。「日本全国同様だ。他の人がやっても同じ。批判するのは簡単」と市長リコール反対の人もいます。10年も市政を任されて成果を示せない市長で良いのでしょうか？

市長は、市民が創るもの

「市長リコールが成立した時の候補はいるのか？」という声も聞きました。私たちは、住民投票を実現させ、市長リコール署名を多くの市民と進めています。共に努力を続けている多くの市民の中から、次の市長にふさわしい候補を絞っていきます。2年待てば、有能な市長が自然と湧き出るというものではありません。市長は、市民が創るものです。

「子や孫など次世代のため」に、「おかしいことはおかしい」と声を挙げましょう。市政を変えるのは、私たち一人一人の決断ではないでしょうか？

一緒に次の新城市を創りましょう。ご協力お願いします。

ご連絡頂ければ、お伺いします。

共同代表 太田 恒久 (090-6365-3646)
澤田 恵子 (090-8739-7408)
竹本 博光 (090-8673-9455)

